

令和５年度 学校評価シート				学校名：和歌山県立笠田高等学校 校長名：野 川 景 子					
目指す学校像 ・生徒にとって、一人一人が大切にされ、安全・安心に学ぶことができる学校 ・教職員にとって、創意工夫が活かされ、働きがいのある学校 ・保護者や地域にとって、ともに頑張ろうと思える学校 育てたい生徒像 ・心身ともに健康で、目標に向かって粘り強く挑戦できる生徒 ・幅広い知識・技能を身につけ、自ら考え、他者と協働できる生徒 ・地域に愛着を持ち、主体的に地域の課題解決に取り組める生徒				学校評価の公表方法 ・本校ホームページに掲載する。 ・学校運営協議会に提出する。		現状・進捗度	A	十分に達成している。 （80%以上）	
							B	概ね達成している。 （60%以上）	
							C	あまり十分でない。 （40%以上）	
							D	不十分である。 （40%未満）	

自己評価（分析、計画、取組、評価）							
番号	計画・取組				評価（令和6年3月1日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	主体的・対話的に学ぶ態度の育成と進路実現	C	・「分かる授業」「できる授業」の実践 【特別支援教育と教育相談の視点の導入】	ICT活用、個別最適な学習・協働的な学習等指導方法や形態を工夫できたか。【生徒の授業評価、研究授業等の実施回数】	B	学習指導支援派遣事業の活用、公開授業の実施等を通じ、特別支援教育及び教育相談の視点での授業改善に取り組んだ。	・「分かりやすく学びやすい授業づくり」計画的で効果的な公開授業等の実施による授業改善の推進
			・スタディサプリ等ICT教材、学校設定科目ステップアップの効果的な活用 【学習習慣の確立】	ICT等を活用し、家庭等で計画的・主体的に学習する課題の設定ができたか。【授業評価・学校評価アンケート】	C	ICT等を活用した学習に取り組み、主体的に学ぶ態度の育成と家庭学習の充実を図っているが、十分とは言えない。	・普通科の特色化・魅力（「総合的な探究の時間」の充実、教科横断的な学習等の実施） ・ICT等の活用、協働的な学習の効果的な実施に向けた教員研修
			・キャリア教育・職業教育の推進 【社会人としての資質・能力の育成】	多様な入試制度の活用、応募前職場見学・各種ガイダンス、高大連携事業等の実施 【大学進学状況・就職内定率】	B	進路LHRやガイダンス、高大連携事業等の実施により、主体的で多様な進路選択に繋がりが就職・進学実績が向上した。	・よりよい学習環境づくり ・事業所や関係機関等と連携した職業教育 ・事業所や関係機関等と連携した情報教育
2	個々の教育的ニーズに対応した生徒支援・生徒指導の充実	B	・個々の生徒の適切なアセスメントと情報共有・共通理解	校内委員会を中心とした情報共有やアセスメントが迅速・的確であったか。【アセスメントシート、つなぎ愛シート作成】	A	校内研修による教職員の専門性の向上、特別支援COを中心にした相談体制の充実により適切で迅速な対応ができた。	・「つなぎ愛シート」の活用等、中学校や関係機関との連携・引継の強化
			・面談、アンケート等の有効活用	面談・三者懇談が効果的に実施できたか。【問題行動・不登校・休学・転学・退学者数】	B	個人及び三者面談を適切に実施し、個々及び集団の支援・指導を丁寧に行えた。	・課題を抱える生徒の学習及び生活に係る適切なアセスメントと校内体制の充実
			・家庭や関係機関との円滑な連携	組織的・継続的に生徒及び家庭の支援ができたか。【ケース会議、学年会議等の回数】	B	教職員間で情報を共有する機会を多く持ち、組織的・継続的に支援を行っている。	・教職員間のきめ細かい情報共有と共通理解による生徒支援・指導の推進 ・日常的な生徒観察と対話を大切にした人間関係づくりによる休・転・退学者の低減
3	安全・安心な学校づくり	B	・安全・安心な教育環境の整備	いじめ・不登校・感染症等への迅速・適切な対応ができたか。【学校評価アンケート】	A	課題には迅速かつ適切にチームで対応し、安全・安心な学習環境づくりができた。	・部活動の充実 （中学校・地域スポーツクラブ・近隣高等学校等との連携、部活動の精選）
			・部活動、学校行事、特別活動の充実	目標に向かって生徒は主体的・協働的に活動できたか。【学校評価アンケート】	B	生徒主体の学校行事を通して自己有用感が高まったが、部活動には課題が残る。	・生徒主体の学校行事の精選と充実
			・防災減災教育の推進	各避難訓練・防災スクール等が効果的に実施できたか。【学校評価アンケート】	A	関係機関との連携による防災教育が実施でき、自助・共助の意識が高まった。	・地域や関係機関等と連携、協働した防災・減災教育の推進 ・自然災害や感染症への対策
4	地域との連携・協働	B	・地域住民・小学校・中学校・事業所等との連携の推進	地域との連携・協働の場が創出できたか。【教育活動の状況・学校評価アンケート】	A	コロナが収束し、地域交流や学校間交流等、地域連携が進み、協働体制が整った。	・地域との連携・協働の場の更なる創出
			・自己有用感・自己肯定感の醸成	部活動、学校行事、学校外学修等が充実していたか。【各種アンケート】	B	ボランティアや部活動、生徒会活動を通じた自己実現の場が創出できている。	・学校運営協議会への教職員の参画 ・商業科「課題研究」発表会の開催
			・学校運営協議会の効果的な活用	学校や地域の課題解決に向けて効果的に実施できたか。【学校評価アンケート】	A	福祉・文化・教育・ビジネス等の地域課題に向き合う橋渡し役を委員が担っている。	・ボランティア単位修得に向けて活動の精選と推奨（ボランティアカードの作成と活用） ・中学校との連携の推進 ・総合的な探究の時間、LHRの取組の充実

学校関係者評価（1月～2月実施）
【生徒】ICTを活用し、生徒全員にアンケートを実施した。 (1)学校生活について ・大多数の生徒が自校に愛着と誇りを持っている。 ・コロナが収束し、制約なく教育活動を行うことができ、満足度が高まっている。（学校行事・HR活動・生徒会活動・進路指導等） ・生徒にとって相談しやすい関係づくりができています。 ・校内の環境美化や生活規律についての課題意識が高まっている。 (2)学習について ・生徒の学習ニーズが多様化している。生徒理解・生徒支援と並行して、分かりやすく学びやすい授業づくりを推進したい。 【保護者】ICTを活用し、保護者全員にアンケートを実施した。 (1)学校生活について ・コロナが収束し、制約なく教育活動を行うことができ、満足度が高まっている。（学校行事・生徒会活動・部活動・安全安心な環境づくり等） ・文化祭・体育祭・各種説明会等、来校いただく機会が増え、教育活動の理解につながっているが、十分とは言えない。 (2)生徒支援・生徒指導について ・基本的生活習慣や規範意識についての評価が高まった。引き続き、家庭と連携しながら取り組んでいきたい。 【教職員】ほぼ全ての項目において、高い評価が得られている。 (1)教育目標、重点目標 ・本校の現状と課題の認識、魅力と特色ある学校づくりについて、教職員の共通理解のもと、学校運営ができています。 (2)教職員の姿勢・意識 ・自覚と意欲を持って業務を遂行することができている。 ・生徒指導・進路指導については教職員の意識に幅がある。 ・多忙化の解消に取り組んでいるが十分ではない。 【地域住民等】 (1)生徒について ・通学の安全や学校生活を温かく見守っていただいている。 ・挨拶や身だしなみについての課題をご指摘いただいている。 (2)学校運営について ・SNSやマンスリータイムスを通じて教育活動を発信しているが、「わからない」との回答が多く、十分に広報できているとは言えない。 ・生徒会活動・部活動・特色ある取組等について評価をいただいている。 (3)本校への思いや期待 ・防災や歴史・文化の継承についての連携のお声をいただいている。 ・「地域の子どもたちにとって憧れの笠高生でいてもらいたい」